

掛川市健康医療シンポジウム

日 時：平成28年9月9日（金）19:00～
場 所：掛川市文化会館シオーネ 大ホール

次 第

1 開 会

2 主催者挨拶：掛川市議会議長 竹嶋 善彦

3 共催者挨拶：掛川市長 松井 三郎

小笠掛川保健・福祉・医療研究会会長、
一般社団法人 小笠医師会会長 加藤 進

4 基調講演：「今、なぜ健康医療基本条例か」

～在宅医療と地域包括ケアシステムの重要性～

講 師 静岡県医師会会長 篠原 彰 先生

<プロフィール>

東京医科大学を昭和50年3月卒業後、東京医科大学病院、済生会川口病院等に勤務され、昭和60年4月焼津市に篠原医院を開業。平成26年6月に静岡県医師会会長、平成28年6月には、日本医師会の理事に就任。現在、在宅医療をはじめ、地域医療や地域包括ケアに関する取り組み、県医師会長等の職務も併せて多忙な日々を送られている。

平成21年11月に、日本医師会優功賞を、平成26年11月に、県知事表彰保健衛生功労を受賞。

5 パネルディスカッション：「掛川市健康医療基本条例に期待するもの」

コーディネーター：篠原 彰 氏（静岡県医師会会長）

パネリスト：高木敏男氏（掛川市議会議員、地域医療基本条例制定特別委員長）

加藤 進氏（小笠掛川保健・福祉・医療研究会会長、小笠医師会会長）

武田和子氏（市民代表＜f.a.n.地域医療を育む会＞）

浅井正人氏（掛川市副市長、かけがわ「生涯お達者市民」推進プロジェクト推進委員会委員長）

6 閉 会